

株主のみなさまへ

第67期 株主通信

第2四半期報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

「
価値
ある
安さ
」



普段の暮らしをより豊かに・より便利に・より楽しく

ディスカウントストア

MrMax

証券コード 8203

■ 株主のみなさまへ

中期経営計画を
着実に実行し、
収益力向上に
取り組みます。



平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
「お客様にご支持いただける売場づくり」と「収益性の向上」を目指す中期経営5カ年計画がスタートいたしました。

当第2四半期累計期間の当社の業績は、消費税増税反動からの回復基調に加え、季節品の販売や販促キャンペーンの好調な売上を受け、営業収益が期初の計画を上回り推移しております。

さらに、「筋肉質な事業構造への転換」を推し進め、人件費や水道光熱費などの経費削減が進んだことで、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに黒字転換を果たすことができ、増収増益となりました。

この結果を踏まえ、通期の業績予想を期初より上方修正いたしました。今後も、中期経営計画に沿った施策を着実に実行することで、全社一丸となって収益力向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長
平野 能章

【お知らせ】

株主通信の第2四半期報告書につきましては、内容を簡素化しお届けしております。ご理解のほど、宜しくお願いいたします。

■ 中期経営計画の進捗について

商品改革:

売上貢献度の低い商品の売場を縮小し、売れ筋商品を拡大

客数の多い食品部門とHBC部門を先行して、売れ筋に絞り込み、新しい提案商品の導入に向けた売場スペースの確保を行いました。前年同期と比較した既存店の実績は、売上高は5.8%増加し、在庫高は約1割減少しております。

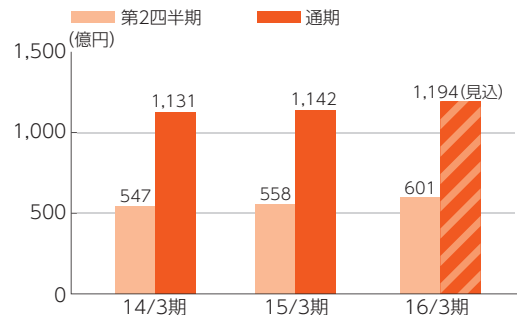
下期は、この取り組みを他部門へ水平展開するとともに、拡大・強化する商品群について、九州地区の2店舗で販売実験を開始いたします。

オペレーション改革:

売場外にある在庫に起因する補充の手間を削減

物量の8割を占める食品部門とHBC部門について、販売量と陳列量を連動させた売場に変更することで、売場に並べられない在庫を抑制し、商品補充に係る作業負荷の削減に取り組みました。その結果、既存店の店舗人件費が5.0%(約1億7千

■ 営業収益(売上高+不動産賃貸収入)



■ 中期経営5カ年計画施策

商品改革

- 価値ある安さの継続
- 核売場の構築
- 人材育成
- DS基本形の再構築

オペレーション改革

- 買物時間の節約
- 在庫適正化
- 作業効率の向上

コスト削減・その他

- 諸経費削減
- 店舗改廃

万円)削減されております。

下期は、発注システムの改修および専門チームによる現場教育の追加により、作業効率の向上に取り組みます。

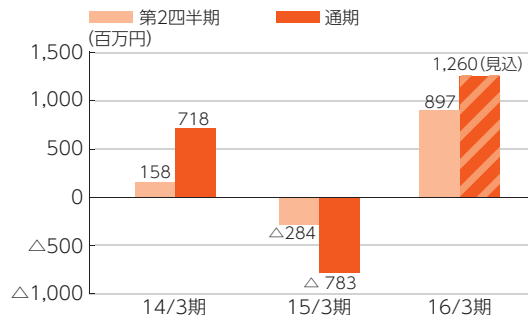
■ コスト削減・その他:

一般管理費の削減

水道光熱費や警備費、清掃費の契約の見直しなどにより、一般管理費を約2億円削減いたしました。

引き続き、省エネ改修等を通じ経費の削減を進めてまいります。

■ 経常利益



この株主通信に記載の業績の見通しは、株主通信作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しと異なる結果がありうることをご承知おきください。

当第2四半期の業績について

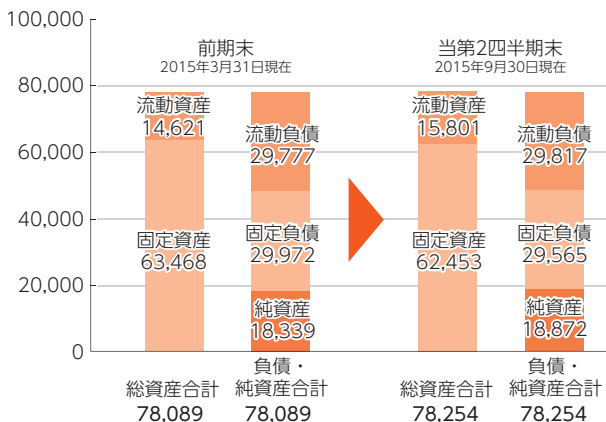
■ 経営成績

(単位：百万円・百万円未満切捨)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
営業収益	55,806	60,101
売上高	53,448	57,681
売上総利益	11,668	12,579
不動産賃貸収入	2,110	2,059
その他の営業収入	247	360
営業総利益	14,025	14,998
販売費及び一般管理費	14,343	14,109
営業利益	△ 317	889
営業外収益	215	178
営業外費用	182	171
経常利益	△ 284	897
特別利益	41	58
特別損失	62	3
税引前四半期純利益	△305	952
法人税等	△64	351
四半期純利益	△ 240	600

■ 資産・負債の状況

(単位：百万円・百万円未満切捨)



商品部門別の売上状況

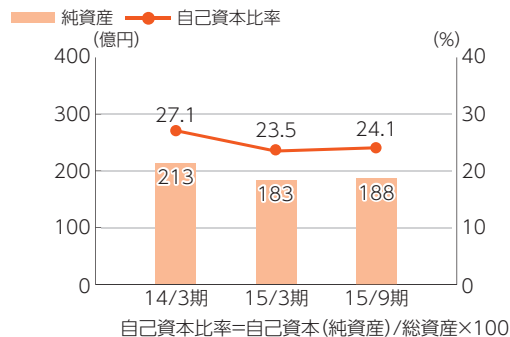
飲料などが好調な食品部門や、家庭紙などが好調なHBC部門が約1割売上を伸ばしました。加えて、8月上旬の猛暑により季節商品が順調に売上を伸ばしたこと、販促キャンペーンが好調に推移したことなどを受け、全部門で前年同期を上回りました。



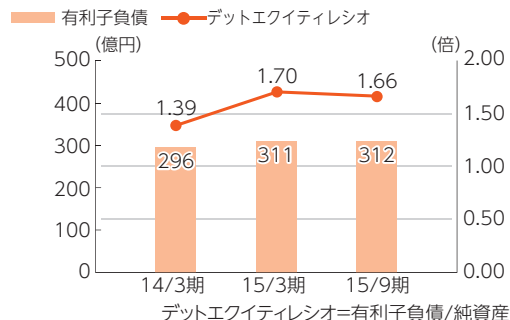
資産・負債の状況

- 総資産は、商品や売掛金の増加などにより、前期末に比べ1億65百万増加しました。
- 負債は、預り金の減少などにより、前期末に比べ3億67百万円減少しました。
- 純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ5億32百万円増加しました。

■ 純資産・自己資本比率



■ 有利子負債・デットエクイティレシオ



株式状況 (2015年9月30日現在)

- 発行可能株式の総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 39,611,134株
(当第2四半期累計期間中の増減はありません。)
- 1単元の株式数 100株
- 株主数 8,818名
- 所有者別株式数比率

	個人・その他	外国法人等	金融機関等	自己株式	その他法人
前期末	32.6%	21.5%	16.6%	16.2%	13.1%
当第2四半期	31.5%	20.1%	19.3%	16.2%	12.9%

●大株主の状況 (自己株式除く・千株未満切捨) 単位：千株

株主名	持株数
ヒラノマネジメントビーヴィ 有限会社Waiz Holdings	6,435
ミスターマックス取引先持株会	2,778
MrMax社員持株会	2,076
株式会社福岡銀行	1,460
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,414
平野能章	1,283
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,075
平野耕司	801
平野淳子	763
	719

株主還元について

●配当金の推移

	第65期 2014年3月期	第66期 2015年3月期	第67期 2016年3月期
第2四半期末	5円	—	—
期末	5円	—	5円(予想)
年間	10円	0円	5円(予想)

2015年10月29日公表の予想数値から変更はございません。

会社概要 (2015年9月30日現在)

- 社名 株式会社ミスターマックス
- 創業 1925年10月
- 設立 1950年12月
- 資本金 10,229百万円
- 従業員数 780名
- 決算期 3月
- 上場 東証1部・福証
- 本部所在地 〒812-0064
福岡市東区松田一丁目5番7号
電話 092-623-1111 (代表)
- 店舗展開 60店舗
(関東地区11店・中国地区9店舗・九州地区40店舗)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.mrmax.co.jp>
ただし、電子公告によることが出来ない事由が生じた場合には日本経済新聞に公告いたします。

株式に関する事務手続きについて

住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求その他のお問い合わせ先は、次のとおりです。

■証券会社等の口座に記録された株式

お取引のある証券会社等へお問い合わせください。

■特別口座に記録された株式

三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉0120-232-711 (通話料無料)



このパンフレットを印刷・製本する際の電力(100kWh)は、グリーン電力(自然エネルギー)でまかなわれています。自然エネルギーによる発電は、発電するときにCO₂を発生せず、また化石燃料による発電と異なり再生可能であるため、環境への負荷が小さいエネルギーです。



植物油インキは、生分解性があり、環境負荷が高い有機溶剤の排出量も少なく、環境に優しい原材料を使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。